

## 普通徴収切替理由書(兼仕切紙)

市区町村名		指定番号	
事業者名			

普通徴収とした方がいる場合に、該当する符号欄に人数を記入し、下図のとおり普通徴収とした方の給与支払報告書(個人別明細書)の先頭に挟み込んでください。

《提出時のつづり方》



符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総従業員数が2人以下 (下記「普B」から「普F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人
普B	他の事業所で特別徴収(例:乙欄適用者)	人
普C	給与が少なく税額が引けない(例:年間の給与支給額が100万円以下)	人
普D	給与の支払が不定期(例:給与の支払が毎月ではない)	人
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人
普F	退職者又は退職予定者(5月末日まで)及び休職者	人
(合計人数は総括表の報告書人員欄「普通徴収」人数欄に転記) 合計		人

《記入上の注意》

- 普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に符号(普A～普F)を記入してください。
- 複数の該当理由がある従業員については、いずれか一つに人数を記載してください。
- 符号「普F」欄の休職者とは、休職により4月1日現在で給与の支払を受けていない方です。
- この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則どおり、特別徴収対象者となります。

この線で切り取って提出してください。